



**NISM** 資格について

ネットワーク情報セキュリティマネージャー

平成17年4月28日  
NISM推進協議会事務局  
(社団法人電気通信事業者協会)

# 1. NISM資格講習制度とは(1) 創設の経緯

## 創設の経緯

平成12年に郵政省(現総務省)が開催した「電気通信事業におけるサイバーテロ対策検討会」において、「情報セキュリティに関する専門家の育成が急務である」という内容の提言あり。  
NISM資格講習制度はこの提言を受けて民間資格として平成13年度に創設。

「ハッカーや不正アクセス、コンピュータウィルスなどから、情報通信ネットワークとその利用者を防御するための専門知識を持つ技術者の育成」を目的に、総務省のご協力のもと、NISM推進協議会が実施する人材育成プログラム。

### 【NISM推進協議会構成団体】

(社)電気通信事業者協会、情報通信ネットワーク産業協会、(社)テレコムサービス協会、(社)電波産業会、(社)日本インターネットプロバイダー協会、(財)日本データ通信協会、(社)情報通信技術委員会

# 1. NISM資格講習制度とは(1) 創設の経緯(参考)

【電気通信事業におけるサイバーテロ対策検討会報告書の提言より抜粋】

## 第4節 情報セキュリティに関する専門家の育成

### 1. 電気通信事業者における情報セキュリティに関する専門家の育成

- ① 社内教育等の推進・・・外部の専門家等を活用して社内教育を充実
- ② 学校教育の充実

### 2. 資格制度

- ① 電気通信主任技術者資格制度
  - ・ 情報セキュリティに関わる能力を確認するための内容が含まれていない。
- ② 新たな資格制度の必要性
  - ・ 一般第二種電気通信事業者には電気通信主任技術者の選任義務がないこと及び専門家に必要とされる能力は情報セキュリティに関するものであることから、総合的なネットワーク管理能力を求める電気通信主任技術者資格制度とは別に、情報セキュリティに特化した新たな資格制度を創設することも一案である。

【この年に発生した主な不正アクセス事案等】<上記報告書より>

1. 中央官庁等のホームページが不正に書き換えられる事件が発生。(平成12年1月末～2月中旬)
2. 米国「Yahoo!」サイト等へのDos攻撃(平成12年2月7日/その後1週間の間)
  - 「Yahoo!」への接続が出来ない状態が数時間に渡って発生。原因はハッカーによるDDos攻撃による。
  - その後、「eベイ」「CNN」「アマゾン・ドット・コム」のサイトが同様の攻撃により被害。
3. コンピュータウイルスによる被害
  - 「VBS. LoveLetter. A」いわゆる「I Love You」ウイルス(平成12年5月4日に発見)
  - 「VBS. NewLove. A」いわゆる「New Love」ウイルス(同年5月18日に発見)
  - 「W32/MTX」(修復にHDDの初期化が必要なため、被害は深刻化)(同年6月に発見)

# 1. NISM資格講習制度とは(2) 特徴

## 講習内容

- ◎ 実習は実機を用いた実践的な講習内容。(セキュリティ技術系)
- ◎ ベンダーフリーの講習・資格のため、特定のベンダーの技術に縛られることなく、最新の必要な技術について学ぶことが可能。

## 資格の位置付け

- ◎ 民間資格。  
(総務省のご指導・ご協力のもと創設された公共性の高い資格)
- ◎ ISMS取得時に有効。「セキュリティに関する有スキル者(有資格者数)」として計上可能。
  - ※ 自社内で「情報セキュリティ・アドミニストレータ」等の国家資格取得と同等に位置付けて社員を評価している企業あり。
  - ※ 入札資格の一例としている地方自治体もあり。

## 活用モデル

- ◎ サービス品質の向上。
  - ・ 自社が提供しているセキュリティマネジメントサービスの提供レベルをチェックできる。
- ◎ お客さま対応時における更なる信頼の獲得。
  - ・ プロダクト資格に加えて、セキュリティに特化した資格を持ってお客さまと対応できる。
- ◎ ヒューマン・ファイアウォールの構築。
  - ・ NISMの有資格者が基本的な技術をしっかりと身につけ、それぞれのセクションで周りの人に技術を浸透させる。
  - ・ セキュリティに対する意識を高めるため、各職場で周りの人を啓発。

## 2. NISM資格体系

		総合スキル		専門スキル	
		IPやOS等の基本知識(事前確認のレベル)はあるものの、セキュリティに関する業務経験や関連知識が少ない方向けのレベル。【NISM基礎コース】	基礎コースを修了、または修了と同等のレベルを有する方で、セキュリティシステムの構築を体験したい方向けのレベル。【NISM資格コース】	NISM資格(ネットワークセキュリティ実践)認定者レベル、もしくはセキュリティシステムの構築体験がある方を対象に、より専門的なスキル(サーバ構築、セキュリティポリシー策定、セキュリティ運用、セキュリティ監査)の習得を目指す方のためのレベル。【NISM専門コース】	
情報セキュリティ技術			<b>②ネットワークセキュリティ実践&lt;3日間&gt;</b> (年間5回程度実施予定) <b>【会員価格 157,500円】</b> (一般は 173,250円) 自社のサイトを防御するため、ファイアウォール、VPN、認証、ワクチンソフトなどのサイトセキュリティに必要な道具の使いこなしと、多様化したハッキングからのサイトセキュリティを実現する方法を習得するコース。 ※受講生のニーズが増大している無線LANのセキュリティを講義+実習の形態で平成16年度から追加。	<b>③サーバセキュリティ実践&lt;3日間&gt;(〃2回〃)</b> <b>【会員価格 168,000円】(一般は 184,800円)</b> サイト内の具体的なホストの安全性を高めることを追求する。各種OS(UNIX、Linux、Windows)を使用し、安全なMail、Web、DNSサーバなどの構築方法や、各々を構築する上でのポイントを習得するコース。	
		<b>①ネットワークセキュリティ基礎&lt;2日間&gt;</b> (年間5回程度実施予定) <b>【会員価格 63,000円】</b> (一般は 69,300円) ネットワークセキュリティ全般にわたる概要や動向・基礎知識などを修得するコース。		<b>④セキュリティ監視実践&lt;3日間&gt;(〃2回〃)</b> <b>【会員価格 168,000円】(一般は 184,800円)</b> 様々な犯罪事象を想定しつつ、ケーススタディを繰り返すコース。その中でどのような防御方法が適切であるのか、また日常の運用監視作業として、どういったものが望ましいのかを習得するコース。 ※高度なレベルが要求されるIDS設定やシステムログ解析を主な内容とする。	
情報セキュリティ管理				<b>⑤セキュリティポリシー実践&lt;2日間&gt;(〃2回〃)</b> <b>【会員価格 73,500円】(一般は 80,850円)</b> セキュリティポリシーの構築を目的としたコース。国際標準であるISO15408やBS7799規格の動向や解釈、構築の	
				<b>★平成16年度新設★</b> <b>⑥セキュリティ監査実践&lt;2日間&gt;(〃2回〃)</b> <b>【会員価格 73,500円】(一般は 80,850円)</b> 情報セキュリティ監査制度の概要と、その中心的なガイドラインである情報セキュリティ管理基準と情報セキュリティ監査基準の構成を理解し、演習を通じて、その効果的な活用方法を把握する。	

※ 価格は税込。 会員価格とは「『NISM推進協議会構成団体』に加盟する企業」に所属する社員の方が受講する場合の価格。

### 3 資格更新(1) 内容

#### 【研修のねらい】

資格更新の方を対象に、セキュリティの最新動向を中心に課題試験を行います。課題の提出により認定試験を行い、その試験に合格することにより、資格の更新となります。

#### 【研修実施概要】

- 対象者： 資格取得後、2年経過する方。  
(平成15年度に資格を取得された方)
- 実施方法：課題試験郵送、返送、添削
- 郵送内容：課題試験、推奨書籍の案内
- 料金： 次ページ

「ネットワークセキュリティ基礎」と「ネットワークセキュリティ実践」の更新については、これまで半日間の集合研修としていたが、交通費用や更新費用の個人負担の軽減を考慮し、平成17年度からの更新試験はすべて「課題郵送」で実施する。

#### 「ネットワークセキュリティ基礎」テーマ

- ①NISM講習復習 ②最新セキュリティ動向

#### 「ネットワークセキュリティ実践」テーマ

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ①NISM講習復習    | ・セキュリティインシデント紹介 |
| ②最新のセキュリティ動向 | ・コンピュータウイルスの動向  |
|              | ・標準化動向          |
|              | ・関連法規概要         |

#### 「サーバセキュリティ実践」テーマ

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ①NISM講習復習    | ・オペレーティングシステムの動向 |
| ②最新のセキュリティ動向 | ・セキュリティホールの動向    |
|              | ・セキュリティ対策の動向     |
|              | ・サーバアプリケーションの動向  |

#### 「セキュリティ監視実践」テーマ

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ①NISM講習復習    | ・不正アクセスの動向       |
| ②最新のセキュリティ動向 | ・セキュリティインシデントの動向 |
|              | ・セキュリティ監視の動向     |
|              | ・IDSシステムの動向      |

#### 「セキュリティポリシー実践」テーマ

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ①NISM講習復習    | ・グローバルスタンダードの動向  |
| ②最新のセキュリティ動向 | ・評価/認証制度の動向      |
|              | ・セキュリティ関連法規の動向   |
|              | ・セキュリティポリシー策定の動向 |

#### 「セキュリティ監査実践」テーマ

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| ①NISM講習復習    | ・グローバルスタンダードの動向  |
| ②最新のセキュリティ動向 | ・評価/認証制度の動向      |
|              | ・セキュリティ関連法規の動向   |
|              | ・セキュリティポリシー策定の動向 |

※「セキュリティ監査実践」については、平成16年度新設のため、単独での更新対象ではないが、同時更新による受験は可能。

### 3 資格更新(2) 費用

		費用内訳		合計費用	
		申請費	試験		
			共通課題	科目別課題	
基礎		12600円 (1科目の受験でも 複数の受験でも 一律この金額のみ です。)		—	基礎のみの場合 12600円
実践				各3150円	1科目の場合 15750円
サーバ				同時に複数科目を受験の 場合の1科目単価 ( 1科目 3150円 2科目 3045円 3科目 2835円 4科目 2625円 5科目 2415円 )	2科目の場合 18690円
監視					3科目の場合 21105円
ポリシー					4科目の場合 23100円
監査					5科目の場合 24675円

※ 資格更新にかかる費用は会員・一般ともに同額

### 3 講習日程

	資格講習名		日程	定員	場所
総合スキル	ネットワークセキュリティ基礎	第1回	5月16日(月)～ 5月17日(火)	各回 20名	NTT麻布セミナーハウス
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
		第3回	月 日( )～ 月 日( )		
		第4回	月 日( )～ 月 日( )		
		第5回	月 日( )～ 月 日( )		
	ネットワークセキュリティ実践	第1回	5月18日(水)～ 5月20日(金)	各回 20名	新宿住友ビル
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
		第3回	月 日( )～ 月 日( )		
		第4回	月 日( )～ 月 日( )		
		第5回	月 日( )～ 月 日( )		
専門スキル	サーバセキュリティ実践	第1回	7月20日(水)～ 7月22日(金)	各回 20名	新宿住友ビル
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
	セキュリティ監視実践	第1回	9月 7日(水)～ 9月 9日(金)	各回 20名	新宿住友ビル
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
	セキュリティポリシー実践	第1回	7月11日(月)～ 7月12日(火)	各回 20名	NTT麻布セミナーハウス
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
	セキュリティ監査実践	第1回	7月13日(水)～ 7月14日(木)	各回 20名	NTT麻布セミナーハウス
		第2回	月 日( )～ 月 日( )		
更新	資格更新(6資格全て対象)	第1回	5月31日(火)申込締切	特になし	課題郵送方式
		第2回	月 日( )申込締切		

※ 第2回以降の日程については順次、NISMホームページに掲載いたします。 <http://www.nism.jp>